

# H-IIA ロケット 4 号機打ち上げ成功！

(鈴木良昭 記)

2002 年 12 月 14 日午前 10 時 31 分に H-IIA4 号機が、予定どおり種子島射場から打ち上げられた。このロケットには、地球観測衛星 ADEOS-II とピギーバック衛星である 3 つの小型衛星が搭載されており、それぞれ無事ロケットから放出された。

当日は、風もなく、晴れで絶好の打ち上げ日和であった。当日、筆者は、射場から 4km 程離れた種子島宇宙センターの総合指令棟前の駐車場から打ち上げを生で見ることができた。打ち上げ前には、指令塔横のビジターセンターで多くの打ち上げ視察の方々とともに、打ち上げスケジュール等の説明を受けた。ADEOS-II には、米国 NASA 及びフランス CNES のセンサーが搭載されており、また、ピギ-バック衛星の FEDSAT はオーストラリアの小型衛星であることから、それぞれの国からの打ち上げ視察の方々が多参加されていた。小型衛星は、FEDSAT の他に千葉工業大学が開発した鯨生態観測衛星である WEOS、宇宙開発事業団の小型衛星  $\mu$ -LabSAT が今回同時に打ち上げられている。

打ち上げは、順調で、リフトオフの瞬間まばゆいばかりの光とともにロケットが音もなく上昇を始めると、すぐに轟音があとから追いかける形で届いてきた。ロケットは、全天を覆わんばかりの轟音とともにわずかに発生していた雲を突き抜け上昇をつづけた。

打ち上げ準備も極めて順調で、前回の 3 号機に続き予定の打ち上げ期日、時間どおりに連続して打ち上げが成功したことは、日本のロケット打ち上げ技術の信頼性の大幅な向上を示したものと言えよう。



打ち上げ



上昇